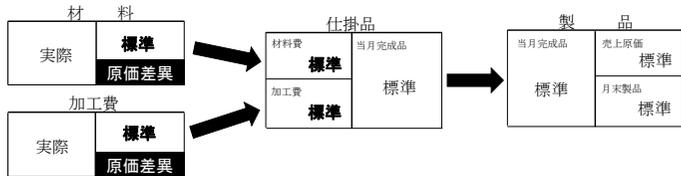


第140回 日商簿記検定試験 2級 -工業簿記- 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第4問

シングルプランによれば、勘定記入方法は次のようになる。なお、本間は月初・月末仕掛品が存在しない。



1. 仕訳問題

(1) 材料購入時 (1)の仕訳

材料購入時には実際額で材料勘定に記入されることとなるため、以下の仕訳を行う。

(借) 材	料	1,152,000	(貸) 買	掛	金	1,152,000
-------	---	-----------	-------	---	---	-----------

※900kg(実際購入量)×1,280円(実際単価)=1,152,000円

(2) 材料消費時 (2)の仕訳

材料消費時には標準額で材料勘定から払い出されることとなるため、以下の仕訳を行う。

(借) 仕	掛	品	864,000	(貸) 材	料	864,000
-------	---	---	---------	-------	---	---------

※360個(完成品数量)×2,400円/個(標準直接材料費)=864,000円

(3) 価格差異・数量差異の把握

(借) 価	格	差	異	60,000	(貸) 材	料	96,000
(借) 数	量	差	異	36,000			

※価格差異：{1,200円(標準単価) - 1,280円(実際単価)} × 750kg(実際消費量) = 60,000円(不利差異)

※数量差異：{360個(当月着手量) × 2kg(標準消費量) - 750kg(実際消費量)} × 1,200円(標準単価)

= △36,000(不利差異)

2. 損益計算書(売上総利益まで)作成問題

		月次損益計算書(一部)		(単位:円)	
I	売上高			1,500,000	①
II	売上原価				
	当月製品製造原価	1,404,000	②		
	月末製品棚卸高	234,000	③		
	標準売上原価	1,170,000			
	原価差異	180,000	④		
	売上総利益			1,350,000	⑤

①…300個(販売数量)×5,000円/個(販売単価)=1,500,000円

②…360個(完成品量)×3,900円/個(原価標準)=1,404,000円

③…60個(月末数量)×3,900円/個(原価標準)=234,000円

④…96,000円(材料費差異総額)+84,000円(加工費差異)=180,000円(不利差異)

⑤…1,170,000円(標準売上原価)+180,000円(原価差異)=1,350,000円

第5問

本問において指示されている方法(以下、「簡便法」という)によれば、いったん単純総合原価計算を行い、その上で等価係数に基づき原価を各製品に按分することとなる。具体的な計算は次のとおりである。

①直接材料費

560,000円	月初仕掛品	400個	完成品	6,000個	5,520,000円 (貸借差額)
	当月投入	6,400個	正常仕掛品	600個	
5,120,000円			月末仕掛品	200個	160,000円
5,680,000円					5,680,000円

仕損費の負担計算方法は指示がない場合は度外視法であり、仕損費は計算しない。仕損は発生時点で完成品のみが仕損費を負担するため、貸借差額で完成品を求めることとなる(加工費も同じ)。

$$\frac{5,120,000円}{6,400個} \times \frac{200個}{月末数量} = \frac{160,000円}{月末仕掛品原価}$$

$$\frac{5,120,000円}{投入原価} - \frac{160,000円}{月末仕掛品} + \frac{560,000円}{月初仕掛品} = \frac{5,520,000円}{完成品原価}$$

②加工費

180,000円	月初仕掛品	100個	完成品	6,000個	7,980,000円 (貸借差額)
	当月加工	6,600個	正常仕掛品	600個	
7,920,000円			月末仕掛品	100個	120,000円
8,100,000円					8,100,000円

(注) 正常仕掛品については、発生時点で発生するため、加工進捗度は100%である。

$$\frac{7,920,000円}{6,600個} \times \frac{100個}{月末数量} = \frac{120,000円}{月末仕掛品原価}$$

$$\frac{7,920,000円}{投入原価} - \frac{120,000円}{月末仕掛品} + \frac{180,000円}{月初仕掛品} = \frac{7,980,000円}{完成品原価}$$

③月末仕掛品原価及び完成品総合原価

月末仕掛品原価：160,000円(材料費)+120,000円(加工費)=**280,000円**

完成品総合原価：5,520,000円(材料費)+7,980,000円(加工費)=**13,500,000円**

④等価係数に基づく按分類

$\frac{13,500,000円}{完成品総合原価}$	製品A：4,000個×200g=800,000	⇒(按分類)	<b>6,000,000円</b>
	製品B：1,500個×400g=600,000	⇒(按分類)	<b>4,500,000円</b>
	製品C：500個×800g=400,000	⇒(按分類)	<b>3,000,000円</b>
	合計：		<b>1,800,000</b>